

# 新磯地域まちづくり提言書



平成20年5月  
新磯地域まちづくり会議

## 提言にあたって

新磯地域は、相模川の雄大な流れや斜面緑地、相模の大凧、勝坂遺跡など先人たちが残してくれたすばらしい自然や文化があります。

この提言書は、このまちに暮らす私たち地域住民が、ふるさと新磯の良さを再確認しながら、今、地域で課題となっていることについて、地域住民の代表で組織された「新磯地域まちづくり会議」で、議論を重ね作成したものです。

提言書には、地域住民で解決できるものや行政とともに実現をめざすものなど、新磯地域の将来を見据え、より暮らしやすく、活気あるまちとするために、5つの重点提言項目を掲げました。

この提言書に掲げた項目が、新しい総合計画や都市計画マスタープランの策定において、地域住民の意見として生かされ、この地域のまちづくりがより進められることを願うものです。

新磯地域まちづくり会議

会 長 吉山 茂利

# 目 次

1	地域の現況と課題 .....	P 1
2	重点提言項目（地域重点方策） .....	P 1
3	分野別のまちづくり提言 .....	P 3
	（1）都市基盤・交通	
	（2）自然・環境・観光	
	（3）安全・安心	
	（4）教育・文化・コミュニティ	
	（5）健康・福祉	
	（6）基地	
4	提言図 .....	P 1 4
	（付属資料）	
*	会議等経過・主な審議内容 .....	P 1 5
*	委員名簿 .....	P 1 6

## 1 地域の現況と課題

新磯地域は、西側を相模川、東側を河岸段丘の斜面緑地、磯部・新戸周辺に水田地帯が広がるなど、自然環境に恵まれた地域であり、相模の大凧や勝坂遺跡などの地域の貴重な文化財が存在しています。また、近年、住民の手により芝ざくらが相模川の河川堤防に植えられるなど自然と共生した郷土づくりも行われています。

しかし、地域住民が安心して暮らせるまちづくりのために、防犯、防災体制の充実や環境づくりが求められているほか、相模川とキャンプ座間に挟まれた南北に細長い地形的な制約等による幹線道路や生活道路、公共交通機関の不足、キャンプ座間周辺におけるヘリコプターの騒音問題などの課題もあります。

また、地域における健康づくりの推進や高齢者、障害者などに対する福祉施策の充実、地域ぐるみでの子育ての支援のほか、児童生徒がのびのびと教育が受けられよう、学校施設の充実などが求められています。



## 2 重点提言項目(地域重点方策)

本地域は、次の5点を重点的な提言とします。

### (1) 豊かな自然と調和したうるおいと活力のあるまちづくり

相模川の雄大な流れ、周辺に残る豊かな緑。こうした恵まれた自然環境を守りつつ、生活にうるおいや、やすらぎを育むために、自然と調和した憩いの場の整備など河川敷の有効活用を図る。

また、活力あるまちづくりのために、相武台下駅の東側、西側周辺の均衡のとれた開発と保全を進めるとともに、磯部地区を通るバス路線について、三段の滝周辺を通るルートへの変更を行い、生活の利便性の向上を図る。

### (2) ふるさと新磯の歴史・文化の継承

人類の貴重な歴史の足跡である勝坂遺跡の保存については、資料館などとともに、豊かな自然を生かした公園として早急に整備を進める。

また、相模の大凧、芝ざくらまつりについては、さらなる地域の活性化や全国に誇れるまつりとするために、事業に対する支援の充実や周辺道路の整備を行う。

### (3) 誰もが安全で安心できるまちづくり

災害時に備えた防災倉庫の充実や防災体制・支援体制づくりを進めるとともに、防犯パトロールなどの犯罪防止策の充実や防犯灯の設置により、安全なまちづくりに努める。

また、危険な踏み切りの改良や通学路となっている歩道の拡幅、危険箇所への信号等の設置のほか、円滑な道路交通を確保するために、幹線道路の早期整備を促進する。

#### (4) 健康で温かみのある人にやさしいまちづくり

地域ぐるみでの健康づくりのための機会や場の充実を図るとともに、高齢者・障害者が地域で安心して生活を送るための支援策の充実や子育て支援のための地域での相談体制の充実、世代間の交流などふれあいの場の充実を図る。

#### (5) 基地のないまちをめざして

キャンプ座間の返還に向け、市と地域住民が一丸となった積極的な取り組みを進める。

また、キャンプ座間地内を通り相武台方面と新磯地域を結ぶ市道新戸相武台の早期拡幅整備を進めるとともに、キャンプ座間内のゴルフ場部分の返還、まがり坂道路の復活及び基地の東側及び西側外周部分の道路としての返還を強く要請する。



### 3 分野別のまちづくり提言

#### (1) 都市基盤・交通

##### 現状と課題

新磯地域は、西側を相模川、東側を河岸段丘の斜面緑地とキャンプ座間に挟まれた南北に細長い地形となっており、こうした地形上の制約や主要な施設がないなどから、道路・交通や駅周辺などの整備が遅れている状況にあります。

特に、道路については、相武台方面から相模川方面の東西を結ぶ主要幹線道路がなく、南北に県道相模原茅ヶ崎線があるのみで、生活道路にあっては、消防車が入りできないような幅員の狭い道路や歩道の整備がされていないなど、安全に生活する上でも課題があります。

##### 道路(安全で円滑な道路の整備)

- ・市道新戸相武台を拡幅整備する。
- ・キャンプ座間内東側及び西側外周部分を道路として返還を要請する。
- ・キャンプ座間内のまがり坂道路の復活を強く要請する。
- ・地域の観光名所となる相模の大凧や芝ざくらのまつり会場を巡回できるように、れんげの里あらいそ(大凧センター、新磯ふれあいセンター、新磯こどもセンター)～相模川堤防～近江屋道を拡幅整備する。
- ・県道52号相模原町田から座架依橋を結ぶ相模川左岸道路を整備する。
- ・県道46号相模原茅ヶ崎の歩道を、全線にわたって拡幅整備する。
- ・都市計画道路町田新磯線の早期整備を図る。(キャンプ座間側へのルート変更の検討)
- ・市道磯部59号を延伸し、拡幅整備する。
- ・市街地の用水路に蓋をかけ、歩道としての活用を図る。
- ・通学路などの危険な箇所への信号等の設置を働きかける。

## 鉄道・バス(鉄道・バスの利便性の向上)

- ・相模線を複線化する。
- ・相模線に新駅として(仮称)磯部駅を設置する。
- ・磯部地区を通るバス路線を三段の滝周辺を通るルートへ変更するとともに、併せて道路の拡幅を行う。
- ・公共機関や病院などを循環するバスを走らせる。
- ・相模線のガード(第1下磯部架道橋など)、新戸踏切を改良し、歩行者、自動車の円滑な通行を確保する。
- ・田園都市線を延伸する。(中央林間～相武台前駅～相武台下駅)

## まちづくり(良好な生活環境の整備)

- ・相武台下駅周辺のにぎわいを創出するために、駅東側、西側の均衡のとれた開発と保全を進め、スーパーなどの誘致により生活の利便性の向上を図る。
- ・相武台下駅の駅前広場や、駐輪場などの整備を進める。
- ・新磯高校の廃校後の活用について、地域の意見を踏まえ、地域が利用しやすいように施設整備を図る。
- ・麻溝台・新磯野地域の均衡のとれた整備促進を図る。
- ・固定電話の市外局番の統一を図る。



## (2) 自然・環境・観光

### 現状と課題

新磯地域は、相模川などの河川及び相模川の河岸段丘沿いの斜面緑地や勝坂遺跡、キャンプ座間周辺などに多くの緑地が残されているほか、磯部・新戸周辺に広大な水田地帯が広がるなど、他の地域に比べ自然や環境に恵まれている状況にあります。

しかしながら、宅地の開発や農業後継者の不足による田畑の荒廃などにより、これまでの環境が変化する一方で、地域のにぎわいを創出するための活性化策を進める必要もあり、均衡のとれた開発と保全が重要となっています。

また、生活環境については、ごみの減量化・資源化への取り組みや相模川河川敷などへの不法投棄に対する取り組みが必要となっています。

さらに、観光については、相模の大凧や芝ざくらなどのさらなるにぎわいづくりのために、観光地としての新たな魅力づくりが求められています。

### 河川(美しい河川の保全と有効活用)

- ・相模川とふれあい、憩うことができるように、芝ざくらを中心とした散策路の整備や相模の大凧揚げ会場の確保のために河川敷の有効活用を図る。
- ・三段の滝下を有効に活用するため、家族みんなで利用できるスポーツ広場の拡張整備をする。
- ・鳩川を改修する際には、地域住民みんなが親しみを持てるように、遊歩道の整備とともに、自然景観をできるだけ残し、魚や小動物が生き続けられるように配慮する。
- ・川を汚さないという住民の意識改革などを行い、鳩川にきれいな流れを取り戻す工夫をする。
- ・清らかな湧水を守るために、緑地を保全し雨水涵養機能を高めることや雨水浸透施設の設置を推進する。

## 公園・緑地(豊かな緑の保全と有効活用)

- ・勝坂遺跡は、遺跡にふれあうことができるよう、資料館などを整備するとともに、周辺の緑地や湧水などの自然を生かした公園として早急に整備を進める。
- ・勝坂歴史公園は、樹木の手入れをするとともに、遊歩道などの整備を早期に行う。
- ・身近なところに、子どもが安心して自由に遊べる公園や広場を整備する。
- ・公共施設を整備する際には、緑を現状より減らさないような配慮をする。
- ・豊かな自然を守るため、河岸段丘や斜面緑地を保全する。
- ・貴重な名木・古木の保存に努める。
- ・水田を保存し、自然学習の場とする。

## 環境(人と自然にやさしい環境づくり)

- ・ごみや資源回収の際の出し方について、マナーの向上に努める。
- ・ごみの減量化を図るため、普及・啓発を行うのと併せて生ごみのコンポスト化を進める。
- ・相模川河川敷の不法投棄防止のため、パトロールや車両規制などの対策を進める。
- ・ダイオキシン発生を防ぐため、産業廃棄物の野焼きなどの規制を強化する。

## 観光(地域のにぎわいと活力を育む観光の振興)

- ・相模川グリーンラインを相模の大凧、芝ざくらの活用により、新たな観光資源とする。
- ・地域の観光名所となる相模の大凧や芝ざくらのまつり会場を巡回できるように、れんげの里(大凧会館、新磯ふれあいセンター、こどもセンター)～相模川堤防～近江屋道を拡幅整備する。(再掲)
- ・相模川とふれあい、憩うことができるように、芝ざくらを中心とした散策路の整備や相模の大凧揚げ会場の確保のための河川敷の有効活用を図る。(再掲)
- ・相模の大凧まつりや芝ざくらまつりに対して、一層積極的な支援策を講じる。

### (3)安全・安心

#### 現状と課題

安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、地域住民の防災に対する日頃からの意識の向上と災害に備えた生活物資や医療物資の確保、消防団・自主防災組織などの防災体制の充実が必要となっています。

また、子どもが悲しい犯罪に巻き込まれたり、暗く人通りが少ない道路など、犯罪が置きやすい環境の改善など、暮らしの中での安全対策が求められています。

#### 防災(災害に強い地域づくり)

- ・災害時の生活物資を確保するため、防災備蓄倉庫の充実を図る。
- ・高齢者、障害者などの弱者救済のための地域での体制づくりを進める。
- ・救急隊の配置や狭い道路でも活躍できる消防車の配備を進める。
- ・非常時に冷静に行動できるような防災意識の啓発活動を行う。
- ・地域の避難所の運営、防災活動の充実を図るため、自主防災組織の強化を図る。
- ・消防団員の確保のほか、消防職員や消防団員OBの防災組織をより充実し、緊急時に応援できる体制をつくる。
- ・キャンプ座間のヘリポートの利用や西側ゲートの開放など、大規模災害時の広域避難場所としての充実を図る。

#### 安全(安全で安心できる地域づくり)

- ・子どもの安全や犯罪防止のために、地域での通学時の交通指導や防犯パトロールなど、見守りの活動をより充実する。
- ・派出所を交番に格上げし、地域の防犯体制の充実を図る。
- ・夜間の安全性を確保するため、防犯灯の設置を進める。
- ・通学路などの危険な箇所への信号等の設置を働きかける。(再掲)
- ・公共施設のみならず、人の集まる場所へのAEDの設置を進める。

## (4)教育・文化・コミュニティ

### 現状と課題

いじめや不登校などの問題や生活の多様化、社会構造の変化などにより、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、いきいきと学べる環境づくりや学校と地域、家庭が連携した子どもを育てる環境づくりが求められています。

また、地域に残る勝坂遺跡や相模の大凧などの貴重な文化財、伝統文化の継承を図るとともに、温かみのある地域づくりを進めるために、地域住民相互が、ふれあい、たすけあう機会や場の充実が必要となっています。

### 学校教育・家庭教育(学校・地域・家庭が連携した教育環境づくり)

- ・不登校、いじめなどの問題を改善するために、子ども達が相談、指導を受けることができる施設やカウンセラーなどの充実を図る。
- ・学校と地域との関わりをより深めるため、青少年健全育成協議会等の組織を活用するなど、学校と保護者、地域で話し合える場や機会の充実を図る。
- ・地域において、米作りや大凧づくりなどの体験学習を更に推進できるような、プログラムの充実を図る。
- ・子どもの道徳心の向上を図るため、道徳教育を充実する。
- ・新磯小学校の敷地を様々なスポーツや活動ができるように拡張する。
- ・ゆとりある学校生活が送れるよう、校舎の増築など学校環境の改善を図る。

### 生涯学習(生涯にわたる学びの場づくり)

- ・地域がより利用しやすいように、公民館及びこどもセンターの運営方法などの充実を図る。
- ・放課後、児童・生徒が安心して過ごせるよう、居場所対策の充実を図る。

- ・教育・文化サークル、スポーツ活動等の指導者の人材活用や子どもから高齢者まで交流できる場や機会の充実を図る。
- ・地域で子どもを育てる仕組みづくりを進める。
- ・学校の開放教室を増やし、音楽などの文化活動でも利用できるようにする。
- ・地域ぐるみで親子のふれあいを高めるための事業を進める。

### 文化(ふるさと新磯の歴史・文化の継承)

- ・勝坂式土器など地域の歴史的、民族的な資料の収集、保存を図る。
- ・勝坂遺跡については資料館などの学習施設や自然を生かした公園として早期に整備する。(再掲)
- ・相模川グリーンラインを相模の大尻、芝ざくらの活用により、新たな観光資源とする。(再掲)
- ・相模の大尻まつりや芝ざくらまつりに対して、一層積極的な支援策を講じる。(再掲)
- ・帆掛け舟を地域の伝統文化として位置づけ保存する。

### コミュニティ(温かみのある地域づくり)

- ・公民館、自治会館などの地域の施設を活用した地域コミュニティの充実を図る。
- ・自治会館の設備、機能を一層充実する。
- ・地域における様々なボランティア活動、住民活動の推進と協力体制の充実を図る。



## (5)健康・福祉

### 現状と課題

いつまでも、いきいきとした健康な生活を送るためには、身近な場所で、気軽に健康づくりができる機会や場の創出、体制づくりが必要です。

また、緊急時の安心を確保するための高齢者、乳幼児などに対する医療体制の充実や高齢者の生きがいのための場づくり、さらには、子育ての不安解消のための地域ぐるみの支援や高齢者・障害者に対する生活支援策の充実が求められています。

### 健康づくり(健康でいきいきとした地域づくり)

- ・健康づくりを増進するために、体育指導委員や健康づくり普及員などが連携し、指導者の育成、スポーツの機会の充実などを図る。
- ・身近なスポーツの場として、学校の校庭や体育館、プールの開放を更に進めるとともに、安全性の確保に努める。
- ・健康な体づくりのために、新鮮な地元の農作物を食生活に取り入れる。

### 医療(安心できる地域医療の充実)

- ・緊急時に備え、A E Dの使用方法や救急法の普及に努める。
- ・高齢者、乳幼児、子ども、障害者など緊急時の対応、体制づくりを進める。

### 高齢者(高齢者にやさしい地域づくり)

- ・高齢者の生きがい対策として、働く場の確保など社会参加できるような体制づくりを進める。
- ・在宅高齢者への食事、入浴、清掃等のサービスの充実を図る。
- ・公民館で、給食や福祉サービス活動ができるように設備の充実を図る。
- ・高齢者の積極的な学びを支援するために、公民館の高齢者学級の充実を図る。

- ・地域住民が主体となって、地域内にある施設を有効活用し、高齢者の憩いの場づくりを進める。
- ・住み慣れた地域で豊かで明るい生活ができるよう、グループホーム、ケアハウスの整備を進める。

### 子育て(子どもたちの健やかな成長のための環境づくり)

- ・働く女性を支援するため、保育施設・サービスの充実を図る。
- ・子ども達が安心して遊べる場所の確保に努める。
- ・病気の回復期である乳幼児を一時的に預けることができる保育所を設置する。
- ・子育てにおける相談など、情報交換の場の充実を図る。
- ・地域の文化や技術を、子ども達に伝えながら世代間の交流を進めるなど、地域で子どもを育てる活動を行う。

### 障害福祉(生きがいと自立のための環境づくり)

- ・障害者の自立を支援する地域作業所を設置する。
- ・障害者をケアする施策の充実を図る。

### 地域福祉(地域福祉体制の充実)

- ・地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区ボランティア、自治会などが連携を強化し、地域で福祉を支える体制づくりを進める。



## (6) 基地

### 現状と課題

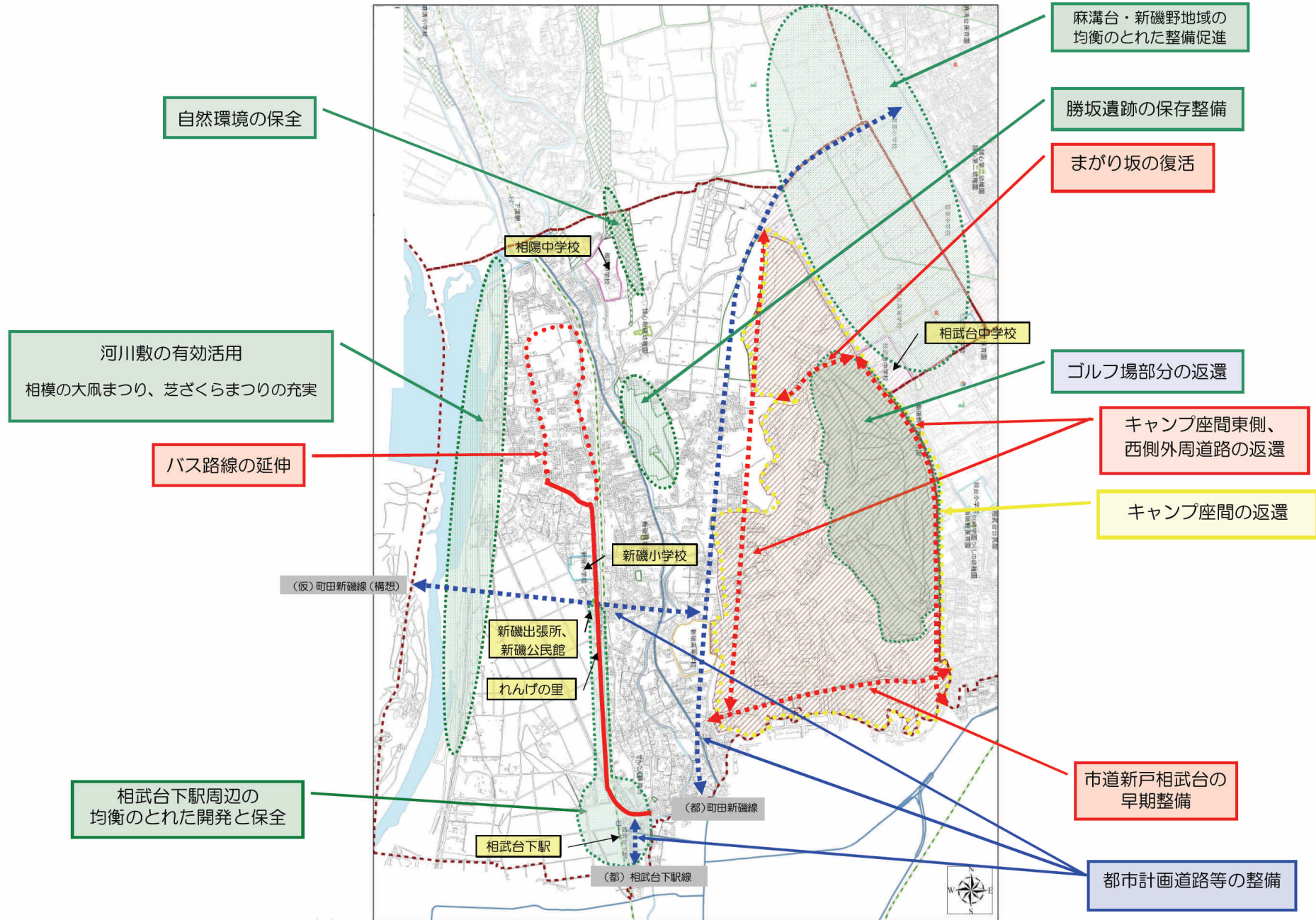
新磯地域は、キャンプ座間が南北方向に伸びていることから、東西を結ぶ道路が少ないなど、利便性の高い生活を送る上で、大きな支障となっているとともに、基地周辺でのヘリコプター等の騒音により、不安な生活を余儀なくされている現状もあります。

こうしたことから、市と地域住民とが一丸となった基地の返還に向けた取り組みを進めるとともに、こうした状況を少しでも改善するために、一部返還や共同利用などの要請を行う必要があります。

### 基地(基地の早期返還の実現)

- ・基地の返還を要請する。
- ・ヘリコプターの騒音等の防止対策を要請する。
- ・基地関係者による犯罪等の撲滅を要請する。
- ・市道新戸相武台を拡幅整備する。(再掲)
- ・キャンプ座間内のまがり坂道路の復活を強く要請する。(再掲)
- ・キャンプ座間内東側及び西側外周部分の道路としての返還を要請する。(再掲)
- ・キャンプ座間については、部分返還及び共同利用の推進を求めていく。
- ・キャンプ座間のゴルフ場部分の返還を受け、大規模公園を建設する。
- ・キャンプ座間のヘリポートの利用や西側ゲートの開放など、大規模災害時の広域避難場所としての機能の充実を図る。(再掲)

4 提言図



## (付属資料)

## 会議等経過

日 程	会議内容	出席者数
平成19年 7月 5日(水)	新磯地域まちづくり会議準備会に向けた打ち合せ会議 ・会則、公募方法等の検討	委員 2名
9月11日(火)	新磯地域まちづくり会議準備会 ・公募の選考等	委員 2名
9月19日(水)	第1回新磯地域まちづくり会議 ・会則(案) 役員の選出	委員 19名
10月16日(火)	第2回新磯地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	委員 17名
11月14日(水)	第3回新磯地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	委員 18名
12月11日(火)	第4回新磯地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	委員 13名
12月18日(火)	第5回新磯地域まちづくり会議 ・地域の課題(良い点・悪い点)の抽出	委員 13名
平成20年 1月22日(火)	第6回新磯地域まちづくり会議 ・重点提言項目の検討・提言書(案)の検討	委員 13名
2月 6日(火)	第7回新磯地域まちづくり会議 ・提言図、提言書(案)の検討	委員 13名
3月 5日(水)	第8回新磯地域まちづくり会議 ・提言書(案) 提言図の確認、地域説明会について	委員 14名
4月15日(火)	新磯地域まちづくり提言書(素案)説明会	一般 31名
		委員 20名

## 委員名簿

	氏名	団体等	役職	備考
1	吉山 茂利	新磯地区自治会連合会長 市安全・安心まちづくり推進協議会新磯支部長	会長	
2	川島 英雄	上磯部自治会連合会長		
3	中村 公博	下磯部自治会協議会長		
4	山村 浩	勝坂自治会連合会長、 新磯地区老人クラブ連合会長		
5	菊地 弘美	新戸自治会連合会長		
6	山口 星司	新磯公民館長	副会長	
7	田淵 淳子	青少年指導員代表		
8	中村 正剛	体育指導委員代表		
9	川久保真由美	新磯小学校PTA会長		
10	齋藤 芳昭	相陽中学校PTA会長		
11	曾我ユキ子	新磯地区青少年健全育成協議会長		
12	角田 龍猪	新磯地区社会福祉協議会長		
13	石川 鈴子	新磯地区民生委員児童委員協議会長代理		第3回会議まで
14	飯田 雄一	新磯地区民生委員児童委員協議会長		第4回会議から
15	伊藤 孜	新磯地区健康づくり普及員協議会代表		
16	中村 吉和	新磯地区ボランティア団体代表		
17	中村 勝利	相模原南交通安全協会新磯支部長		
18	佐藤 萬行	新磯地区防犯協会長、新磯観光協会長		
19	安藤 貴一	消防団第6分団長		
20	石岡 敏男	新磯商盛会長		
21	田所 政信	J A新磯地区みどり組合協議会長		
22	野澤 肇	相模の大風文化保存会長		
23	芳沢千恵子	J A相模原市女性会新磯支部長		
24	丸塚 淳子	公募委員		
25	幟川 しのぶ	公募委員		

### (事務局)

企画政策課 櫻澤 淳

都市計画課 水内 智

政令指定都市推進課 新井 優香

下水道整備課 加藤 弘文

新磯出張所 吉川 正明

新磯公民館 新井 国師